

平成28年度第2回（仮称）小牧市農業公園検討委員会（視察会）会議録

- 1 開催日時 平成28年8月30日（火）
午前9時00分 市役所北側ロータリー集合
午前9時10分～午前10時40分 移動
午前10時40分～午後0時10分 あおいパーク視察
午後0時10分～午後0時50分 昼食
午後0時50分～午後2時00分 移動
午後2時00分～午後3時45分 dela ふぁーむ視察
午後3時45分～午後4時30分 移動
午後4時30分 市役所到着、解散
- 2 視察場所 碧南市農業活性化センター「あおいパーク」
（碧南市江口町3-15-3）
名古屋市農業センター「dela ふぁーむ」
（名古屋市天白区天白町平針黒石2872-3）
- 3 出席者
【委員】
長島委員（委員長） 今枝委員（副委員長） 堀委員
長田委員 丹羽委員 永井委員 野村委員 橋本委員
馬場委員 神戸委員
【碧南市農業活性化センター】
杉浦園長 森下係長
【名古屋市農業センター】
谷口所長 中村係長
【事務局】
小牧市役所地域活性化営業部 丹羽次長
農政課 余語課長 余語係長 木村主事
- 4 欠席者
なし
- 5 配布資料
・次第
・視察行程表
・「あおいパーク」及び「dela ふぁーむ」ホームページ写し

【司 会】

みなさんおはようございます。本日はお忙しい中、平成28年度第2回（仮称）小牧市農業公園検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の検討委員会は、前回の会議にありましたように、碧南市の「あおいパーク」と名古屋市の「dela ふぁーむ」を視察します。まず委員長よりあいさつをお願いします。

【委員長】

みなさんおはようございます。今日は平成28年度第2回の検討委員会で、これから先進施設の視察に行きます。この視察で見たものの中で小牧市でも取り入れられるものを探し、今後の検討委員会での話し合いの参考としていきたいと思えます。本日はよろしくをお願いします。

【司 会】

ありがとうございました。

それではこれより碧南市「あおいパーク」に向かいます。

—移動—

○「あおいパーク」に到着、調理室に移動

【司 会】

こんにちは。本日はお忙しい中、視察会にご協力いただきありがとうございます。それでは委員長よりあいさつ申し上げます。

【委員長】

こんにちは、本日はお忙しい中視察会に時間を割いていただきありがとうございます。今回は（仮称）小牧市農業公園の参考となる施設として碧南市「あおいパーク」を視察し、とり入れることができそうなものを見つけていきたいと思えます。本日はどうぞよろしくをお願いします。

【園 長】

みなさん本日は遠いところからお越しいただきまして誠にありがとうございます。まず始めに当園の概要説明をしまして、後に園内のご案内をしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

碧南市農業活性化センターは、愛称「あおいパーク」として、今から18年前の市制施行50周年記念の年の4月に開園しました。このあおいパークのあ

る場所は、周囲を海や川に囲まれた砂地で、雨や日照に恵まれているため、玉ねぎやにんじん、さつまいも、落花生などが栽培されております。特に碧南市のにんじんは「へきなん美人」の名称で親しまれており、特産品となっております。このような立地条件を生かし、地域農業活性化の拠点として「あおいパーク」が誕生しました。

続いて、園内にある施設の紹介をいたします。

まず産直施設ですが、JAあいち中央に依頼し、JAの産直部会が運営しています。主に市内の農業者が出荷した農産物の販売を行っています。産直施設は、当初は現在の3分の1程度の面積でしたが、徐々に人気が出てきたため、現在の広さになりました。

次に体験農園ですが、農家の組合を組織して農作物の栽培を行っており、その農作物をお客さんが直接もぎ取るという目玉の施設となっております。また、市民菜園もあり、1区画30㎡の区画が70あり、現在ほとんどの区画が使用されている状況であります。市民菜園を利用する場合は、使用料が年間9,600円かかり、この使用料を利用者が支払うことで菜園1区画と水を利用できます。その他に、入浴施設やレストラン等があります。

平成27年度の年間の来場者数は約101万4千人で、過去14年間の年間来場者数は約100万人となっております。最も来場者数が多かったのは、平成20年度で約117万3千人の方が来場しました。

来場者の年齢層ですが、産直施設は主婦の方や高齢者の方が多く、もぎ取り体験は子ども連れの世代の方が多いです。8月は夏休みとあって、家族で来場される方が多かったです。来場される方の内、半分以上は市外から来ており、高速道路が近いこともあって、名古屋市から訪れる方も多くですし、リピーターの方も多いです。

6～7月はとうもろこしが収穫でき、甘くておいしいということで多くの方が訪れました。また、市内の幼稚園児にさつまいもの収穫体験をしてもらいました。

園で勤務する職員は、以前は農業専門の職員がいましたが、現在は一般の職員で、農園については農家にアドバイスをもらいながら運営しています。

園が完成して18年が経過したので、修理が必要な箇所がいくつかあり、施設のメンテナンスが今後の課題です。説明は以上です。

【司 会】

ありがとうございました。

先ほどの園長さんの説明について何か質問等がありますでしょうか。

【委員】

J Aとの関わりはどのようになっていますか。

【園長】

J Aとは直接関わってはいませんが、産直施設の部分をお任せしております。また、J Aの産直部会に所属している農家の人と2ヶ月に1回打ち合わせを行っています。

【委員】

何名の職員で園を運営していますか。

【園長】

市の職員は4名で、臨時職員が3名、土日の学生アルバイトが7名程です。

【司会】

他に質問はありませんか。

質問もないようですので、これから施設の視察を行いたいと思います。

—あおいパーク視察（産直施設、植物園、もぎとり体験、市民菜園）—

【司会】

皆様お疲れ様でした。これより昼休憩とします。

出発時刻は午後0時50分を予定していますので、それまでに調理室にお戻りいただきますようお願いいたします。

—昼食—

【司会】

皆さんおそろいですので、これから次の視察地の名古屋市農業センターdelaふぁーむに移動します。

—移動—

Odelaふぁーむ到着、研修室に移動

【司会】

こんにちは。本日はお忙しい中、視察会にご協力いただきありがとうございます。それでは委員長よりあいさつ申し上げます。

【委員長】

こんにちは、本日はお忙しい中視察会に時間を割いていただきありがとうございます。今回は（仮称）小牧市農業公園の参考となる施設として名古屋市農業センターdela ふぁーむを視察し、とり入れることができそうなものを見つけていきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いします。

【所 長】

みなさん本日は遠いところからお越しいただきまして誠にありがとうございます。まず始めに当園の概要説明をしまして、後に園内のご案内をしたいと思いますので、よろしくお願いします。

名古屋市農業センターは、かつて南区にあった養鶏場が伊勢湾台風で被災したことにより、移転先が必要になったのと、市の農業振興を図るのを目的に昭和40年に開設されました。そして昭和45年からは研究の一環として市民農園を始めました。これが名古屋市内の市民農園の先駆けとなりました。

そして、昭和47年からは、衰退してきた名古屋コーチンの復活に取り組み始めました。平成17年には、食育基本法の制定を受けて、市としても数値目標を設定しました。その頃より、体験型のものとして、タケノコ狩や牛の乳絞り、名古屋コーチンの卵採り、アイスクリームづくりを開始し、これらは人気を集めました。

開設50周年記念のときに愛称を募集し、その結果、「dela ふぁーむ」という名称に決定しました。

当園では催しものの開催を行い、特に来場者数が多いのが、園内に植えられているしだれ梅が見ごろになる2月中旬～3月上旬です。最近では、平成27年秋のふれあいフェアを、ライオンズクラブと連携して開催しました。また、山形県名産のいも煮のグループと連携し、1杯500円でいも煮の販売を行い、2,000食分を完売しました。

来場者の年齢層は両極端になっており、しだれ梅が見ごろになる時期はお年寄りの方が多く、体験型のものは子育て世代の方が多いです。そこで、現在は大学との連携を考えており、気軽に学生さんが来てもらえるような取組みを考えています。

体験型施設で特に人気なのがミルク工房で、国のウルグアイラウンドの緊急対策の補助金を活用して整備しました。また、牛乳やジェラートなどの加工施設を平成8年から開始しました。

直売は主に野菜や卵で、名古屋市内の農家が持ち込んだものも販売していますが、生産量が小規模のため、販売する量はこくわずかです。

運営の主体は名古屋市で、業務の一部（畜産施設の管理やしだれ梅の時期の

駐車料金収納業務等)はプロポーザルにより外部に委託しています。職員については、一般職員と技師(造園職、農学職)で構成しています。

今後の課題としては、施設の老朽化が進んでいるため、どのように施設を維持管理するかであります。

農業公園をつくる際の注意点としては、施設の目的がお客さんを集めることなのか、農業の発信なのかをしっかりと整理し、どういう施設をつくるべきか考える必要があると思います。また、トイレはなるべく豪華な方がよいと思います。実際、刈谷のハイウェイオアシスは、トイレがきれいなため人気を集めているとのことでした。説明は以上です。

【司 会】

ありがとうございます。

先ほどの所長さんの説明についてなにか質問はありますか。

【司 会】

質問もないようですので、これから施設の視察を行いたいと思います。

—dela ふぁーむ視察(産直施設、市民菜園、チャレンジファーマー農園、畜産施設)—

【司 会】

皆さんお疲れでした。名古屋市農業センターdela ふぁーむの視察は以上で終了です。

—移動—

○市役所に到着

【司 会】

本日は、現地への視察に足を運んでいただき、また、活発なご議論をいただくなど、長時間にわたり、誠にありがとうございました。これをもちまして、平成28年第2回(仮称)小牧市農業公園検討委員会視察会を終了します。